

1. 耐風設計のための台風モンテカルロシミュレーションの適用方法に関する研究
2. 猛暑による健康被害リスク評価や冷暖房エネルギー消費予測の基礎となる高分解能メソ気象データの作成
3. 都市域内の流れ場を対象とした汚染物質拡散予測に関する研究
4. 密度差のあるガスの拡散性状予測手法の検討
5. 非等温乱流境界層中の乱れの特徴的時間・長さスケールの系統的把握のための研究

東京工芸大学・風工学共同研究拠点の平成27年度の共同研究テーマとして採択された標記5つの研究課題に関連する研究集会を3月5日（土）に本学中野キャンパスにおいて開催します。

本研究集会では、屋外の空気環境・風環境・熱環境に加え、台風モンテカルロシミュレーションに関して、最新の研究の現状や問題点を把握し、今後取り組むべき課題を議論いたします。奮ってご参加いただきたく、ご案内申し上げます次第です。

と き： 2016年3月5日（土）11:00～17:15

ところ： 東京工芸大学中野キャンパス・芸術情報館 1階ホール（東京都中野区本町 2-9-5）

東京メトロ丸ノ内線／都営地下鉄大江戸線・中野坂上駅，1番出口から徒歩7分

問合先： 東京工芸大学 風工学研究拠点事務室 TEL：046-242-9658（直通）

collaborate@arch.t-kougei.ac.jp



耐風設計のための台風モンテカルロシミュレーションの適用方法に関する研究集会

11時00分～12時00分

趣旨説明 松井正宏（東京工芸大学）

1. 台風時の大気境界層の簡易モデルについて
松井正宏（東京工芸大学）
2. 台風シミュレーションに用いる台風気圧場の性質
三浦景祐（東電設計）

猛暑による健康被害リスク評価や冷暖房エネルギー消費予測の基礎となる
高分解能メソ気象データに関する研究集会

13時00分～13時35分

趣旨説明 持田灯（東北大学）

1. 領域気象モデル WRF を用いた気候解析に基づく仙台及び東京を対象とした熱中症リスク評価
河西昌隆（東北大学）

都市域内の流れ場を対象とした汚染物質拡散予測に関する研究集会

13時40分～14時45分

趣旨説明 佐々木亮治（風工学研究所）

1. ドップラーライダーによる都市上空風の観測
岸田岳士（電力中央研究所）
2. 屋外汚染物質拡散に関する実測、風洞実験、LES&RANS による CFD 解析結果の比較
立花卓巳（東京工芸大学）

密度差のあるガスの拡散性状予測手法に関する研究集会

15 時 00 分～16 時 05 分

趣旨説明 佐々木澄（清水建設）

1. 浮力を持つガスの拡散性状予測手法の検討

小野梓（清水建設）

2. ガレージモデルにおける水素漏洩拡散解析

野津剛（清水建設）

非等温乱流境界層中の乱れの特徴的時間・長さスケールの系統的把握に関する研究集会

16 時 10 分～17 時 15 分

趣旨説明 大風翼（東京工業大学）

1. 野外観測に基づく大気安定度を考慮した乱れの特徴的時間・長さスケールの推定

大風翼（東京工業大学）

2. P I Vによる乱流統計量と乱れの長さスケールの測定

義江龍一郎（東京工芸大学）